



党機関紙

「京都党」

第19号

トピックス 1面 …5月議会を振り返って

2面 …市会報告 京都市会代表質問要旨

3面 …市会報告 賛成討論 「下京区醒泉小学校・淳風小学校統合整備の補正予算計上に対する要望」
「京都市工学院高等学校増築工事請負契約の締結について賛成答弁」

4面 …活動報告

所属委員会決定！



村山しょうえい

左京区

交通水道消防委員会



江村りさ

右京区

経済総務委員会



やまづまい子

下京区

まちづくり委員会



大津ゆうた

中京区

教育福祉委員会



森かれん

上京区

くらし環境委員会

5月議会を振り返って



平成27年4月12日に執行された京都市議員選挙を終え、改選後初めてとなる集中審議(議会)が5月18日から同月28日まで11日間実施されました。

本定例会では、子育て支援の充実施策として、保育所及び小規模保育園への整備助成に4億6,500万円、また教育面では下京区醒泉小学校・淳風小学校の統合に向けた施設整備着手に5,600万円、その他市営住宅改善事業等に7億2,100万円の合計11億8,600万円の補正事業について審議を致しました。本市の課題である低出生率の改善や待機児童ゼロに向けた、民間保育園や小規模保育の定員増を目的とする整備助成では、今回の補正事業により保育園で5ヶ所・計200名、小規模保育で1ヶ所・19名の増員となります。

京都党では空き家の増加が問題となる昨今において時代にそぐわなくないと思われる市営住宅の改善事業については反対し、下京区醒泉小学校・淳風小学校の統合に向けた施設整備着手及び、京都市工学院高校の新校舎整備事業に対し賛成討論を実施しました。

また、今回は任期中4年間の議席の決定のほか、議長・副議長の選挙、関西広域連合の選任など、議会運営に関わる内容を多数取り決められ、非常に多くの案件について議論を行いました。会派として議案提案権を得る6名の議席確保とはなりませんでしたが、念願の交渉会派となり理事懇はオブザーバー参加から理事へと昇格、常任委員会も5委員会すべてに議員が出席できるようになりました。ここからが正念場ですので、気を引き締めて取り組んで参ります。

市会報告《京都市会代表質問要旨》

平成27年5月の京都市会代表質問の内容をそのままにお伝え致します。

我々はこれまでから行政の課題や問題点を厳しく指摘してきた。しかし、それはバッシングでも反対の為の反対でもない。

組織論の大家、太田肇同志社大学教授著の公務員革命には次のような一節がある。

「そこ(公務員)には目にみえない『やる気天井』があるかのようだ。」

「役所には不合理な制度や慣行がいつまでも残っている。中略

実は職員の多くはそれに気付いている。しかし、それを変えようとする、既得権を得ている人や制度に安住している人たちからの抵抗に遭う。それでも改革しようとする人間関係のストレスは大きいし、返り血を浴びる覚悟も必要だ。だから、不合理な制度や慣行は、いよいよ外圧に耐えられなくなるまであらためられないのである。」

私たちは外圧であり、市民を乗せた黒船でありたいと思う。かつて黒船によって古い慣習を打破し、新たな文化が持ち込ように、京都市の古い慣習を打ち破り、新たな価値観を創造することを改めてお約束し、決意としたい。

● 国からの出向について

津田議長就任の挨拶でも地方創生元年だというお言葉がございましたが、地方分権が加速し、地方の自立がより強く求められる時代に突入していることは言うまでもなく、国と地方の関係は対等、地方はしっかり自立を目指すべきだということはいまでもありません。

しかし、市役所の中には「国は上、地方は下」という概念がすっかり根付いております。法令の優先順位や地方交付金等の財務はもちろんのことですが、人事においてもその傾向は顕著であります。

国と地方の人事交流は、総務省地方分権推進計画によると「相互対等交流の促進」とあるがポストをみるとそうではない。平成25年度、国から地方への出向者1,653人うち部長級以上は345人、地方から国へは2,423人で部長級以上は1名のみである。

総務省の採用昇任等基本方針「能力及び実績に基づく適材適所の人事配置を図る」というが、これは適正といえるのか。

問題点は3つ

- 1、 暗に国と地方の上下関係を構築し、地方自立を阻害している
- 2、 地方公務員のモチベーションを下げる
- 3、 地方公務員が就任できる主要ポストの減少

なぜ迎え続けねばならないか。見直しされる考えはないのか。人事権者としてのご所見を伺いたい。

● 四条通歩道拡幅について

四条通拡幅については、都市計画審議会を含め概ね方向性については確認、承認が行われてきたわけだが、昨秋、まちづくり委員会に詳細図面が報告され、ここではじめて大変なことになるという認識をもった。

私はまちづくり委員会だったので、このテラス型バス停が大渋滞を巻き起こすと厳しく指摘をしてきた。交通工学を用いて渋滞しないとの答弁が繰り返されたが、私はかつてバスの運行分析調査を行ったことも踏まえ、このまま突入すれば必ず渋滞は起こると指摘を続けた。テラス型を廃してたまりへの引き込み型を再三に渡って訴えておりましたし、いっそのこと一般車両の流入禁止にすればいいという提案も、バス待ちスペースとバス停そのものを分けることで現在のバス停前の混雑緩和を図る提案も、カーナビに基づく流入懸念も、指摘してきたはず。委員会関係者からは「なぜ、そんな執拗以上に指摘を続けるのか」と揶揄されたが、蓋を開ければ、その通りになったのはいうまでもありません。もう少し京都党の言もお聞き届け頂きたいと思うわけです。

さて、私どもは、現実的な提案を、これはずっと継続して申し上げていることですが、とにかくテラス型を廃し、たまり部分にバス停を移設頂き、大幅な渋滞緩和をお願いしたい。

テラス型を継続せざるを得ないとおっしゃるならば、緊急車両用のゼブラゾーンを使い、追い越し出来るように修正いただきたいと思います。幸いバス停は向かい合っておらず、上下線共々ずらして設置されておりますので、ポールなどを立てればバス停前のみ追い越しゾーンを設置させるなどの策を講じ、バス停停車中のバス対策をしっかりと行っていただきたいと思います。

御所見を求めて終わります。

市会報告 賛成討論

● 下京区醒泉・淳風小学校統合整備の 補正予算計上に対する要望



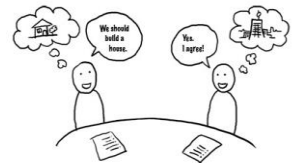
この度、両小学校の統合が決まり、子ども達に、多くの同級生と学べる教育環境を用意でき、また新校舎の耐震改修を行うことで校舎の安全性も確保出来ることとなりました。京都党としても、両小学校の統合には、賛成をさせて頂きました。

しかし一方、両小学校の統合過程で、一時移転先の元格致小学校を3年間活用するために、約12億円もの予算を費やすことに関しては、諸手を挙げて賛成できるものではありません。近隣の別候補地であれば、一時移転に掛かる予算を5億円程度節約できたにも関わらず、地元との折り合いがつかず、結果として京都市民の皆様はその負担をお願いすることになってしまったからです。

そこで、京都党としては、賛成討論として下記3点を要望致しました。

- ①一連の教育委員会とのやりとりの中で、「具体的な設計・工事着手あるいは入札段階で3億円近くの予算圧縮ができる見込み」という説明を引き出せた為、今後の工事までに圧縮できるところは圧縮していただくこと。
- ②3年間の一時的利用であることから、安全性の確保など必要最低限の工事に留め、支出を出来る限り抑えること。
- ③元格致小学校の、一時活用後の有益な跡地活用方法をしっかり検討していただくこと。今後も引き続き、本案件の工事契約や予算執行が適切に執行されるよう注視して参ります。

● 京都工学院高等学校増築工事請負契約 の締結について賛成答弁



本議案の賛否を検討するため、都工学院高等学校の新設地へ視察に行ってまいりました。

目的は、議案書に書かれている「新設高校として刷新された印象となるよう、施設の全面的なリニューアル改修工事」が本当に必要なのかを確かめるためであります。

視察で見えてきた課題は3点ございます。

1点目は必要以上の予算の計上であります。現地では老朽化が進んでいる箇所が見受けられたため、改修工事にかかる約5億円の予算の計上も一定の必要性が認められます。しかし、大ホールの大々的な改修工事などはその必要性に懐疑的であります。

2点目は新棟増設の必要性についてです。約1700人を収容していた教室、校舎内にもスペースが充分にあるため、わざわざ新棟を増築する必要性が感じられません。しいて言えば、屋外駐輪スペースの確保、バリアフリーのためのエレベーター1機の2つのみが特別に必要なのではないかと存じます。

3点目は伏見工業高校の夜間定時制の扱い方についてです。伏見工業高校の夜間定時制のみ合併をしないという計画になっておりますが、今後通学者数は減少の一途を辿ると考えられるため、できるだけ早期の統合も視野に入れてご検討いただきたいです。

最後に、今後取り組まれる際には特別のご考慮をいただいた上で、引き続きコスト削減を重ねてお願い申し上げまして京都党市会議員団の討論と致しました。

活動報告

● 地域政党サミット



京都党は既存の国政政党とは一線を画し、地域に根ざして活動する全国の地域政党と連携し、各都市で活動する6団体と協力して「地域政党サミット(地域政党連絡協議会)」を結成(平成27年3月24日)致しました。

4月の地方統一選終了後、6月14日に実施した定例会では、各地域の選挙の振り返りと分析を行った他、地域政党ネットワークを広げるためのセミナーを実施することが決定しました。

顧問として、前三重県知事の北川正恭先生にもお力添えを頂き、新たな地方政治の流れを作るべく邁進して参ります。

● 京都党市会議員団 視察

千葉市 熊谷俊人市長のもとへ表敬訪問しました。千葉市の現状、これからの千葉市のあり方など活発な意見交換をさせていただきました。



元神奈川県知事、現参議院議員 松沢成文氏のもとを訪問。

松沢氏は県知事時代、全国で初となる受動喫煙防止条例を制定されました。

条例制定までの取り組み、制定後の運用についてなど様々なお話を伺いました。



地域政党 京都党

〒606-0813京都市左京区下鴨貴船町46

TEL 075-712-9977 FAX 075-712-9963

MAIL jimu@kyoto-party.com 地域政党京都党ホームページ<http://www.kyoto-party.com/>